

令和7年度第6回 別府市公共交通活性化協議会 会議要旨

| | |
|--|---|
| 日 時 | 令和8年2月10日（火） 15:00～ |
| 場 所 | 別府市役所5階 大会議室 |
| 出席者 (委員) | 阿部 万寿夫、本田哲、後藤 悠介、荒巻 良考、望月 郁男、下森 正也、平松 久幸、大平 順治、河野 龍児、廣石 昇、稲積 京子、藤木 淳史、小島 仁、山田 和洋、谷川 征嗣、山下 竜雄、山内 佳久、谷原 一心、大井 尚司、田原 裕之、河野 圭史、日置 伸夫、田辺 裕、安部 政信 ※委員24名中 出席21名（うち代理3名） 欠席3名（3名とも委任状受理） |
| 議 事 | <p>(1) 審議事項</p> <p style="padding-left: 2em;">第1号議案 「湯けむりライドシェアGLOBAL」について</p> <p style="padding-left: 2em;">第2号議案 「湯けむりライドシェア南部循環線」について</p> <p>(2) 報告事項</p> <p style="padding-left: 2em;">第3号議案 道路運送法の許可を要しない運送の実施について</p> <p style="padding-left: 2em;">第4号議案 書面会議の結果について</p> |
| <p>(1) 審議事項</p> <p>■第1号議案 「湯けむりライドシェアGLOBAL」について</p> <p>事務局から湯けむりライドシェアGLOBALの現状について説明の上、実証運行の延長について提案。 (主な意見・質疑応答等については次のとおり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ GLOBALはインバウンド対策で導入したものだが、インバウンド客の利用が29.4%と低い数値となっている。市民の利用が増えているのではないかと考えている。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ インバウンド客の比率は下がっているが、今でも3割弱のインバウンド客の利用があるので、インバウンド対策として欠かせないのではないかと考えている。 ➢ 迎車料金を1,000円から500円に引き下げたことによる影響が業界にも出ており、以前そういった場合には対策を講じてほしいとお願いしていたが、そのあたりはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ タクシー協会への影響に対する対策については、実証運行を延長する中で、タクシー業界からどの時期、どの時間帯に影響が出ているのかなどのデータを出していただくなど協力してもらいながら協議していきたい。 ➢ 1日の稼働台数はどのくらいか。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 1日あたり平均で約15～16台が稼働している。 ➢ 市職員もドライバーとして運行しているということだったが、どのくらいの負担になっているか。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ ドライバー勤務については月30時間以内の制限があり、土日に出たら終わりかなというところ。 ➢ 昼付近の時間帯ごとでは多い時で大体90件前後で、1日に換算すると時間あたり3件くらいだが、これが果たしてタクシーが足りていないというような数字なのか非常に疑問。どうお考えか。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 今は私どものデータしかないが、乗車のリクエストをした人の65%しか乗せられておらず、4割の方は乗車希望があるにも関わらず乗っていない。引き続き、タクシー事業者とすり合わせていきたい ➢ 13時～15時というのは非常に暇な時間帯で、タクシーが余っている状況である。なぜ、これだけライドシェアに流れているかというアプリによるもの。本来であればタクシーを補完するものなので、先にタクシーにアプリが動いていって、タクシーがないならライドシェアというのがアプリの正しい条件だと思う。また、朝と夜が少ないというのは、ライドシェアの稼働台数が少ないからだろうと思う。今後の実績も含めて、もう少し厳密に審査をし、タクシー不足を補完していく事業に見直してもらいたい。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 全体を見ながら考えていきたいと思う。 <p>【審議結果】</p> | |

◎ 事務局案どおり承認された。

■第2号議案 「湯けむりライドシェア南部循環線」について

事務局から湯けむりライドシェア南部循環線について説明の上、実証運行の延長について提案。

(主な意見・質疑応答等については次のとおり)

- 収入は出ているが、経費がどのくらいかかっているのか。収支率はわかるか。
 - ☞ 南部循環線と関の江循環線を一括して委託している。手元に資料がないが、南部だけで経費は1,100万円くらい、収支率は10%くらいかと思う。

【審議結果】

◎ 事務局案どおり承認された。

■第3号議案 道路運送法の許可を要しない運送の実施について

事務局から道路運送法の許可又は登録を要しない輸送の実施（朝日大平山ひとまもり・まちまもり協議会 支え合い交通運行事業及び鉄輪みらい創生グリーンモビリティ運行事業）について説明・報告。

(主な意見・質疑応答等については次のとおり)

- この地域は利用客が多いので、我々にとって非常にダメージが大きいのではないかと考えている。これが他の地域に拡大していかないか非常に心配である。
 - ☞ 他の地域への波及については、地域での運転手やスタッフの確保などを考えると、他の地域に広がるということはなかなか難しいのではないかと考えている。仮にそういった事態になれば、市が助成する立場でもあるので、交通事業者の意見も聞きながら、このような場でも報告してご意見を聞き地域の団体にその旨伝えていきたいと考えている。
- 確かに許可が必要ないかもしれないが、事業者としては許可がいらなからいいということではないと思っている。事前相談もなく報告というやり方には懸念があり、本当に大丈夫かと思っている。やるにしても運行管理や車両の維持管理が本当にできるのかも疑問である。そのあたりはどう考えているのか。
 - ☞ 安全運転が一番大事だと思っている。協議をしていく中で、運行管理の面も交通事業者の協力ももらいながら進めたいと思っている。
- 地域からこういう話があったときは、我々事業者にまず教えてもらい同じテーブルで協議して、地域にとってベストなのは何か、我々がどこまでできるかを検討してもらいたいと思う。
 - ☞ まだ予定であり、いつから運行するというのを決めたわけではない。タイヤについても例示を示しているだけで、今後は協議をさせてもらいながら進めていきたい。
- 地域住民がやりたいと言っているからということ動かされてやっていると、10年後に担い手がいなくなった時にもっと大きな被害が出ることになるということを地域の方に会って伝えた方がいい。
- 鉄輪の資料を見ると、バスのルートと重なる箇所がある。運転時間帯が重なった時に渋滞の可能性もあるので、最初の路線設定の早い段階で、交通事業者の意見も聞いてもらいたい。プラスな面としては公共交通との結節等も期待できると思うので、バス停との乗り継ぎなどの検討もぜひお願いしたい。
 - ☞ 路線バスで鉄輪まで来て、そこから乗り換えて鉄輪を周遊できるような流れができればいいなと思っている。運行ルートについては、まだ決まったものではないので、こういった事業者の意見を地元へ伝えながら、実際のルートの検討を進めていきたいと考えている。

■第4号議案 書面会議の結果について

事務局から1月に行った書面会議の結果（過半数以上の承認）について報告。

(意見・質疑応答等なし)